

木津川市教育委員会会議録

平成24年第12回木津川市教育委員会定例会

○日 時：平成24年12月26日（水） 9時33分から11時21分まで

○場 所：木津川市役所 4階 4-1会議室

○出席者：杉本清重委員長、有賀やよい委員長職務代理、小松信夫委員、高橋史代委員、森永重治教育長
（事務局）大西教育部長、森本理事、大谷理事、松原理事、太田教育次長兼社会教育課長、尾崎文化財保護室長、石井教育施設整備室長、柳澤学校教育課長

1. 開 会 委員長
委員長あいさつ

2. 会議録署名委員
委員長が、会議録署名委員を指名した。

3. 前回会議録の承認
委員長が、第11回定例会議の会議録を確認し、承認された。

4. 教育長報告
教育長が、事業報告に基づき報告を行った。
次の件について、詳細の説明があった。

- ・ 11月29日平成24年度第6回相楽地方教育長会議が行われた。いじめについての再調査の件と土曜活用について話し合った。
- ・ 11月30日平成24年第4回木津川市議会定例会が開会した。
- ・ 12月1日第6回やましろ未来っ子 EKIDEN が山城運動公園で行われ、木津川市から州見台小学校、加茂小学校が出場した。
- ・ 12月9日木津川市人権文化のつどいが加茂文化センターで行われた。
- ・ 12月13日から18日まで4日間議会の一般質問が行われた。
- ・ 12月20日議会定例会が閉会された。
- ・ 12月21日午前中に馬場南遺跡発掘調査委員会、午後から高麗寺跡史跡整備委員会が開かれた。
- ・ 12月25日午後から木津川市子ども議会が開かれた。後ほど報告をしてもらう。

う。

【質疑応答】

委員からの質疑は次のとおりであった。

委員：土曜活用については、相楽としてやっていくのか。

事務局：同じような地域性を持っているので、そういう形でやっていこうと話
をしている。相楽以外では夏休みを圧縮してきている。夏休みはそのまま
にして、その代りに一学期に一回土曜活用をしていく。

委員：ゆとり教育からの転換か。

事務局：ゆとり教育の教育課程上の転換はすでに行われている。

委員：京都府からの動きか。

事務局：京都府では一昨年あたりからの動きである。

委員：来年度、一学期に一回程度増えるのか。

事務局：その方向である。

委員：学期に一回であれば何か行事的なものになってしまうのではないか。
そうすると、そんなに授業時間数は増えないのではないか。

事務局：一つのイメージとして今すでに土曜日に参観日として年に2、3回し
ているが、それは月曜日が休みとなっている。その休みのないものにな
るかと思う。府は月1回を奨励しているが、それには条件整備ができて
いない。

委員：今後増やしていくということになるのか。

事務局：全国的な動きも注視したい。

5. 報告

ア 平成24年第4回木津川市議会定例会一般質問について

委員長が事務局に説明を求めた。

部長が、一般質問の教育委員会関係について報告を行った。

【質疑応答】

委員からの質疑は次のとおりであった。

委員：加茂文化センターの指定管理の件で、総務文教常任委員会で反対はあ
ったか。

事務局：総務文教常任委員会で採択され、本会議で全員の議員で採択されるが、
その際に少数の反対があった。

委員：どういう理由で反対されたのか。

事務局：ホームページ上で決定の経過について、もっと詳しく載せるように。
もう一点は選定基準で、経費より内容や工夫に重きを置いた配分を検討してほしいということであった。

委員：幼稚園の待機児童の考え方がわからない。抽選で外れた方は、どうされるのか。

事務局：3歳児は、高の原幼稚園だけは2クラスあるが、基本1クラスであり、1クラス定員は20名となっているので、どうしても抽選となってしまう。抽選に外れた方は、待ってもらいか、私立に行ってもらうことになる。保育園の待機とは違う。

委員：木津川台幼稚園の見通しは。

事務局：平成24年10月以降、幼保一体化を前提とした認定子ども園も視野に入れ検討している。待機児童の解消と幼児教育の充実という幼保一体化を進めていくとされている。平成27年4月1日から新法による認定子ども園となるが、それまでの間は、旧法による認定子ども園で進めていくことになる。それに沿って木津川市も進めていきたいと考えている。

委員：久御山町では幼保の一体化ということでかなり進んでいるのではないのか。

事務局：一部で、既存の保育園と幼稚園をひとつにして、それぞれが機能している。認定子ども園に近いようなものである。

事務局：旧山城町もそうであった。幼稚園がなく、保育園を統合して一つの大きな保育園を作ったが、認定子ども園や幼保一体型ではないが、一つしかないのですべてを受け入れるという幼稚園機能を持たせたものである。

事務局：子育て支援課としっかり連携していかなければいけない。

委員：幼児教育の必要性とは。

委員：社会性を養う時期として幼児期は大事な時期であると思う。幼稚園組と保育園組が小学校に入ると社会性が違うなと感じる。お互いの良い所をもう少し共有できる仕組みというのは一緒に育つことではないかと思う。

イ 木津川市の子どもたちのために、ゆきとどいた教育条件と子育て環境を求める
請願書について

委員長が事務局に説明を求めた。

部長が、「木津川市の子どもたちのために、ゆきとどいた教育条件と子育て環

境を求める請願書」6項目について2項目採択されたことを報告した。

採択された項目は、「普通教室にも特別教室にも冷房設備を設置すること」、「特別な支援の必要な子どもたち全てが、充実した教育を受けられるように、市独自で教職員の増員や教育条件の整備をさらにすすめていくこと」であった。

6. その他

- ・文化財保護室長が、第4回ふれあい文化講座について説明を行った。

1月27日（日）13時30分から16時30分まで、中央交流会館いずみホールで開催される。

- ・教育次長兼社会教育課長が、成人式について説明を行った。

1月14日（月）午後1時から中央体育館で行われる。

- ・理事が、子ども議会について報告を行った。

昨日、平成24年12月25日（火）6階議場で午後1時30分から約1時間半、市内5校の中学生が市に提案を行った。中身については、山城中学校と木津中学校はごみ問題について、泉川中学校と木津第二中学校は市のイベントについて、木津南中学校は特産品を使った開発について、それぞれ市に提案を行った。市長からは、前向きに市政に反映していきたいとコメントされた。

- ・次回委員会日程

次回委員会は、平成25年1月30日（水）午前9時30分から開催することを決定した。

委員長が、会議を閉会した。